

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2026
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 サウンドクリエイターコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	西川進・南慶樹・河原レオ・BAN・丸木美花・大野元毅・柴徳昭	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家		
【科目の目的】 プロの作曲家、アーティストになるための知識とスキルを得ることを目的とする。 1年次は基礎知識を中心に自分が作りたい楽曲と向き合い、作曲に必要な技術の土台を形成する。 座学と実技を複合的に捉え、音として再現していくためにどのような思考が必要なのかを個々が能動的に考えられるように、各授業の講師が手助けをしていく。 卒業発表会でフルコーラスの楽曲を作ること、卒業制作用の楽曲を揃え、リリースすることを目標とする。									
【科目の概要】 作曲に必要な知識を学ぶための総合的な授業。「課題曲」「作曲法」「ミックス」「アレンジ」「楽器レッスン」「コードアナライズ」「卒業制作(週2コマ)」の8つの授業で構成される。 下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。 作曲ゼミは個人レッスン、他の授業は全体授業である。									
【到達目標】 A. ノンダイアトニックを用いながらコード進行を作成できる B. メロディを作成できる C. 楽曲のミックスができる D. 楽曲のアレンジができる E. フルコーラスのボーカル楽曲を作成できる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	機能を考えた上ですべてのコード進行を自分で作成できる		講師の手を借りてコード進行を作成できる				コード進行を作成できない		
到達目標 B	全てのメロディを一人で作成できる		講師の手を借りてメロディを作成できる				メロディを作成できない		
到達目標 C	適切なボリュームバランスを設定し、用途を言語化できる上でエフェクトを使うことができる		ボリュームバランスが取れるがエフェクトは掛け方が分からない。				ボリュームバランスが取れず、エフェクトも掛けられない		
到達目標 D	4rhythmアレンジができ、更に楽器を足したアレンジができる		4rhythmアレンジができる				4rhythmアレンジができない		
到達目標 E	ボーカルRECを行った上でフルコーラスの楽曲を作成できる		ガイドメロでフルコーラスの楽曲を作成できる				フルコーラスの楽曲を作成できない		
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、提出物課題60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する) 平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2026	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	レベルチェック②	長期休暇後のレベルチェック	1	コース講師評価	新たな知見を得ることができる	3	
			2	自己評価	前期の反省を生かすことができたかを確認できる		
			3	目標設定	評価を踏まえ、後期の目標を設定する		
2	楽器レッスン①	実践	Vo	自作曲の歌唱	自作曲の歌についての見解を得る	3	
			Gt	単音フレーズ	ギターの単音フレーズの運指を理解する		
			Pf	単音フレーズ	ピアノの単音フレーズの運指を理解する		
3	楽器レッスン②	実践	Vo	自作曲の歌唱	自作曲に必要な歌い方を理解する	3	
			Gt	カッティング	カッティングの方法について理解する		
			Pf	リズム	リズムの刻み方について理解する		
4	楽器レッスン③	実践	Vo	自作曲の歌唱	発表形式で自作曲を歌唱する	3	
			Gt	ソロフレーズ	ソロフレーズの作り方を理解する		
			Pf	ソロフレーズ	ソロフレーズの作り方を理解する		
5	卒業制作①	制作フォーマット確定	1	楽曲数ジャンル	収録曲について構想を決める	3	
			2	ジャケット	ジャケットの構想と制作方法を決める		
			3	コンセプト	アルバムコンセプトについて決める		
6	卒業制作②	制作	1	楽曲制作	楽曲制作を行う	3	
			2	進捗確認	スケジュールにと進捗の確認を行う		
			3	中間発表	中間発表を行い、次のステップを明確にできる		
7	卒業制作③	制作	1	楽曲制作	中間発表で得た知見を活かし制作を行う	3	
			2	データ確認	納品データの確認を行う		
			3	リリース	サブスクライブサイトにアップロードを行う		
8	作曲ゼミ①	ヒアリング	1	講師面談	制作したい曲について講師と話し合う	3	
			2	リファレンス	リファレンスを提示する		
			3	制作目標	制作にあたり、クリアすべき課題を考える		
9	作曲ゼミ②	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う	3	
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
10	作曲ゼミ③	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う	3	
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
11	作曲ゼミ④	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う	3	
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
12	作曲ゼミ⑤	制作	1	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う	3	
			2	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
			3	自作曲制作	卒業制作、個人活動用の楽曲の制作を講師とマンツーマンで行う		
13	作曲ゼミ⑥	ヒアリング	1	講師面談	卒業後にすべきことを明確にする	3	
			2	将来設計	卒業後数年の計画を立てる		
			3	卒業発表準備	卒業発表用の楽曲を仕上げる		
14	発表会準備	卒業発表会に向けて楽曲を仕上げる	1	メロ、コード進行	メロとコード進行の整合性が取れる	3	
			2	ミックス	FX、ボリュームバランスについて調整ができる		
			3	アレンジ	各楽器のアレンジができる		
15	卒業発表会	1年間で得た技術で楽曲を作製する。(フルコーラス)	1	プレゼンテーション	自分の楽曲について説明ができる	3	
			2	知識、技術	各授業で得た知識、技術を楽曲に活かすことができる		
			3	講師評価	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等